

事業名	犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業		
当初予算額	80,676千円	担当課	警察本部生活安全企画課 外 (内線5540)
取組みの方向	<p>県民に身近な犯罪を抑止し、安全で安心な地域社会を実現するため、地域住民等との協働活動を通じた自主防犯意識の高揚や防犯環境の整備を図り、地域社会が一丸となって、犯罪の起きにくい社会づくりを推進する。</p> <p>① 地域における犯罪抑止力の強化 地域住民や自治体など関係機関・団体と連携し、犯罪情報や地域安全情報の提供、防犯CSR活動の普及促進等による防犯ボランティア活動への支援、青色回転灯を装備したパトロール車の一層の拡充等により、地域における犯罪抑止力の強化を図る。</p> <p>② 防犯環境の整備 子供や女性、高齢者を犯罪から守るため、地域住民、県、市町、事業者等が協働して犯罪を許さない気運を醸成するとともに、防犯カメラ設置の働きかけ等により、防犯環境の整備を図る。</p> <p>③ 少年非行の防止 効果的な非行防止教室の開催など、地域ぐるみによる少年の規範意識の向上に向けた取組を進めるほか、少年が主体的に考え取り組む非行防止活動を支援する。</p>		
事業概要	<p>1. 事業内容 「香川県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進条例」を基軸として、防犯教室の積極的開催、関係機関・団体等と連携した防犯ボランティア活動の活性化、防犯CSR活動の普及促進、防犯カメラの設置促進等に加え、時代のニーズに応じた情報発信により、安全で安心なまちづくりを推進する。</p> <p>2. 5年度事業内容</p> <p>① 「STOP! 特殊詐欺」被害防止対策プラン (19,183千円) 悪質・巧妙化する特殊詐欺を撲滅するため、詐欺の手口を仮想体験できるデジタルコンテンツを活用した「振り込め詐欺撃退装置」の貸出による啓発活動や、コールセンターからの架電による注意喚起等、高齢者を中心に直接働きかける被害防止活動を推進するほか、金融機関やコンビニエンスストア等を対象とした防犯アドバイザーによる防犯指導の実施等、関係機関と連携した水際対策の強化を図る。</p> <p>(2) 地域安全かがわ創造プログラム推進事業 (34,107千円) 初動体制、夜間体制及び機動力等の警察機能及び地域住民との連携を強化するため、交番・駐在所等の再編を行う。</p> <p>(3) 安全・安心まちづくりを推進する防犯カメラ設置促進事業 (7,000千円) 自治体や自治会等を対象に、防犯カメラの設置に係る初期費用の一部を補助することにより、防犯カメラの設置を促進し、地域の防犯環境の整備を図る。</p> <p>(4) 自主的な地域安全活動の充実等事業 (3,960千円) 自主防犯活動に対する物品の貸与や学生ボランティア等による活動の支援とともに、地域住民と協働した各種防犯教室等の開催により、県民の防犯意識・知識の向上を図る。</p> <p>(5) サイバー事案対処能力強化事業 (2,252千円) 捜査員に、サイバー事案対処のために必要な民間を含めた各種研修を受講させ、重大な事案発生時に的確に対処するための知識・技術を習得させる。</p> <p>(6) かがわマナーアップリーダーズ活動支援事業 (424千円) 非行防止啓発活動に主体的に取り組む中学生(かがわマナーアップリーダーズ)の活動を支援することにより、若者世代はもとより、社会全体の規範意識の向上を図る。</p> <p>② 県民の安全・安心を守る警察スマート化事業 (13,750千円) 警察情報の統合アプリ「ヨイチアプリ(仮)」を開発・導入し、地図情報やメール機能等により、犯罪や交通事故等の情報を一元的かつ迅速に提供する環境整備を図る。</p>		

事業名	交通死亡事故抑止総合対策事業		
当初予算額	1,254,419千円	担当課	警察本部交通企画課 外(内線5527)
取組みの方向	<p>昨年の県下における交通事故情勢は、発生件数、死者数、負傷者数ともに前年より減少したものの、人口当たりの死者数では依然として全国ワースト上位と厳しい状況にある。</p> <p>交通死亡事故の減少傾向を維持するため、体系的な交通安全教育・効果的な広報啓発の推進、交通事故の起きにくい道路交通環境の整備、効果的な交通指導取締りの推進といった、総合的な交通安全対策を推進する。</p> <p>① 体系的な交通安全教育・効果的な広報啓発の推進</p> <p>交通事故死者数の約7割を高齢者が占める実態を踏まえつつ、高齢者をはじめとする各年齢層に対して、歩行者、自転車利用者、自動車運転者等のそれぞれの交通手段に応じた体系的な参加・体験・実践型の交通安全教育を推進するほか、インターネット等を活用して交通事故分析情報や交通安全情報等を提供するとともに、自転車ヘルメットや反射材の着用等の必要性や重要性を伝える効果的な広報啓発活動を展開する。</p> <p>② 交通事故の起きにくい道路交通環境の整備</p> <p>交通事故多発箇所や潜在的な危険箇所等において、関係機関と緊密な連携を図りながら、交差点事故等の抑止に効果が認められる道路標識・標示の高輝度・カラー化、信号機の高度化等のほか、通学路の交通安全対策の強化など、交通事故の起きにくい道路交通環境の整備を推進する。</p> <p>③ 効果的な交通指導取締りの推進</p> <p>各地域の交通実態や交通事故発生状況を綿密に分析したうえで、飲酒運転等の悪質・危険な違反や信号無視等の交通事故に直結する違反に対する交通指導取締りを推進するほか、自転車利用者による交通違反に対しては、徹底した指導警告や検挙措置を講じることで自転車交通秩序の維持を図る。</p>		
事業概要	<p>1. 体系的な交通安全教育の推進 (51,932千円)</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>交通事故死者数の約7割を高齢者が占める実態を踏まえつつ、高齢者をはじめとする各年齢層や歩行者、自転車利用者、自動車運転者等、それぞれの交通手段に応じた交通ルールの遵守と交通マナーの向上に向けた体系的な交通安全教育及び広報啓発活動を推進する。</p> <p>(2) 5年度事業内容</p> <p>① 交通安全教育推進体制の充実等事業 (5,731千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメットの着用努力義務化を踏まえ、自転車利用者に乗車用ヘルメット着用を図るための交通安全教育と広報啓発活動を推進する。 ・交通安全意識の向上を図るため、各市町事故分析資料等を活用した広報啓発活動を推進する。 ・各種交通安全ボランティア活動を支援するため、公安委員会が委嘱する地域交通安全活動推進委員に対する研修の実施や活動に必要な資機材を整備する。 <p>② 交通安全教育推進隊事業 (23,790千円)</p> <p>各年齢層に対する交通安全教育の充実のため、交通安全教育推進隊による交通安全教育車等を活用した出前型、参加・体験・実践型の交通安全教育を実施する。</p> <p>③ 高齢者交通安全ガイド事業 (22,411千円)</p> <p>交通事故に遭う可能性の高い高齢者を対象とした高齢者交通安全ガイドの訪問指導により、高齢者の交通手段に応じたきめ細かな交通安全教育を行うことで高齢者の交通事故を抑止する。</p> <p>2. 交通安全施設の整備 (1,187,219千円)</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>交通事故が多発する交差点や夜間の事故を防止するため、道路標識・標示の高輝度・カラー化、信号機の高度化等を進めるほか、交通管制システムの高度化による信号制御の最適化及び適切な交通情報の提供、道路標識・標示の新設・更新等、交通安全施設の重点的かつ効果的な整備を図る。</p> <p>(2) 5年度事業内容</p> <p>① 補助事業 (602,351千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号機の高度化、老朽化に伴う更新改良等 (399,259千円) ・交通情報板、信号機電源付加装置等の整備 (61,336千円) ・交通管制センターの高度化更新等 (141,756千円) 		

② 県単事業 (584, 868 千円)

- ・交差点事故を抑止するための道路標識・標示の高輝度・カラー化整備 (81, 832 千円)
- ・現地診断箇所における施設整備 (30, 000 千円)
- ・道路標識・標示の更新等 (236, 621 千円)
- ・道路の新設改良に伴う交通安全施設の整備 (143, 681 千円)
- ・自転車の通行環境整備 (5, 032 千円)
- ・交通安全施設の移設 (87, 702 千円)

3. 交通指導取締りの強化 (1, 518 千円)

(1) 事業内容

交通事故の発生状況や県民からの取締り要望を踏まえつつ、依然として後を絶たない飲酒運転等の悪質・危険な交通違反や重大交通事故に直結する信号無視等の交差点関連違反の取締りを強化するほか、自転車利用者による交通違反に対しては、徹底した指導警告や検挙措置を講じることで自転車交通秩序の維持を図る。

(2) 5年度事業内容

交通指導取締り資機材の整備 (1, 518 千円)

重大事故に直結する飲酒運転の取締り強化のため、飲酒運転取締り用機器を整備する。

④ 4. 県民の安全・安心を守る警察スマート化事業 (13, 750 千円) (再掲)

警察情報の統合アプリ「ヨイチアプリ (仮)」を開発・導入し、地図情報やメール機能等により、犯罪や交通事故等の情報を一元的かつ迅速に提供する環境整備を図る。

事業名	警察施設整備事業		
当初予算額	179,043千円	担当課	警察本部会計課 外 (内線 5511)
取組みの方向	治安情勢の変化に的確に対応し、県警察全体の機能強化を図るため、警察活動の拠点である警察署、交番、駐在所、待機宿舎その他の警察施設の整備を行い、警察活動を支える組織的基盤の充実・強化を図る。		
事業概要	<p>1. 坂出警察署整備事業 (110,691千円)</p> <p>(1) 事業内容 治安情勢に的確に対応し、地域住民の安全・安心を確保するため、老朽化し、狭隘な坂出警察署の整備を行う。</p> <p>(2) 事業期間 令和元年度～令和6年度</p> <p>(3) 5年度事業内容 旧本館南棟解体工事、外構造成工事</p> <p>2. 交番・駐在所の整備等事業 (39,124千円)</p> <p>(1) 事業内容 県民が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、老朽化が著しい交番・駐在所を計画的に建て替え、地域安全の拠点としての機能を強化し、警察活動を支える基盤の整備を行う。</p> <p>(2) 5年度事業内容 小豆警察署坂手駐在所の建築工事</p> <p>3. 警察施設改修等事業 (29,228千円)</p> <p>(1) 事業内容 警察活動を支える基盤の充実を図るため、老朽化の著しい警察施設の設備改修等を行う。</p> <p>(2) 5年度事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷東地区自動排水ポンプ施設スクリーン更新工事 ・さぬき警察署機械室改修工事 ・警察署等庁舎設備改修工事 		